

## 2010年度版「ロックウール製品の特性と取扱い」の改訂にあたって

ロックウール工業会環境委員会

2008年度版「ロックウール製品の特性と取扱い」の公開から1年半も経過したため、現在の知見から新たに見直しを行い、2010年度版「ロックウール製品の特性と取扱い」として公開することにした。

2008年度版と今回の2010年度版との相違点は下表のとおりで、RWはロックウールの意味である。

2008年度版 RW製品の特性と取扱い		2008年発行と2010年度との相違点等
第1章	1.1 RWの名称について	語句修正
	1.2 RWの製造方法	変更なし
	1.3 RWの諸性質	<ul style="list-style-type: none"> <li>・表1.3の引張り強さの単位をSI単位に修正</li> <li>・日東紡がロックウール製品の製造を中止のため、日東紡を削除</li> </ul>
	1.4 RWの出荷量	<ul style="list-style-type: none"> <li>・最新版のデータに修正。</li> </ul>
	1.5 RWによる健康影響について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・内容そのものは変わらないが、判りやすい表現に修正</li> </ul>
	1.6 RWの作業環境基準	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種規制等基準に変化はないが、最新版での確認を実施。</li> </ul>
第2章	2.1 RW製品の労働衛生管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・語句の修正</li> <li>・厚生労働省の動きの記述を修正</li> <li>・表2.2から手動刃物の切断を削除</li> <li>・労働衛生教育の内容を粉じん障害防止規則の特別教育の内容に準ずることに修正</li> </ul>
	2.2 RW製品の環境管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・語句の修正</li> <li>・表2.3の各社別を製品別に修正</li> <li>・グリーン購入法の断熱材の定義変更に伴い、修正</li> </ul>
	2.3 RW製品の廃棄物処理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・語句の修正</li> <li>・1社のみ広域指定であったが、諸手続きにより、すべての会社が広域認定になったため、広域認定の表現に修正し、表2.5も修正。</li> <li>・参考に記載していた「改修・解体時の廃棄物の注意」と「特別管理産業廃棄物」は、過去に使用していたアスベスト含有ロックウール製品のため、付録4に移動。</li> </ul>
第3章	3.1～3.6(吹付けRW,住宅用RW断熱材、RW化粧吸音板、RW保温材、吹込み用RW,農業用RW)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ロックウール吸音材の項目を追加し、3.1～3.7に修正</li> <li>・内容的には大きな変更がないものの、語句の修正、他の製品の記載内容との整合性を図った。</li> </ul>
付録	付録1 健康影響の概要 付録2 RW製品の種類と用途 付録3 アスベストとの関係 付録4 RW粉じんの測定方法 付録5 用語の解説、文献	<ul style="list-style-type: none"> <li>・付録1として、「ロックウールの歴史」を新たに追加し、従来の付録の番号を順送りとした。</li> <li>・健康影響の概要は、語句の修正</li> <li>・RW製品の種類と用途は、製品の仕様の内容を一部修正し、かつ記載語句等の統一を図った。</li> <li>・ロックウールとアスベストの関係は、過去に石綿を含んだロックウール製品(吹付けロックウール、化粧天井版)について、解体時の取扱い、廃材の処理等を追加した。</li> <li>・ロックウール粉じんの測定及び用語の解説は変更なし</li> <li>・文献については、現在関係すると思われる文献に絞った。</li> </ul>